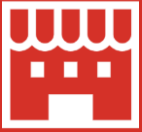


滋賀県立大学生協 ハロウィン企画



[店舗]

取り組み概要

日時：10/31(月) 14:30~18:30
 場所：滋賀県立大学生協 ショップ前
 参加者数や組合員の反応：企画用LINEアカウントに200人以上が追加登録、当日は110人が企画に参加。

背景や概要：ハロウィンに合わせた店舗の装飾を実施。企画当日には、学内にいるケンちゃん(滋賀県大生協のマスコットキャラクター)を写真で撮影、LINEに画像を送信し、ポイントに応じてお菓子の交換を行った。

組合員に楽しんでもらうために

POINT.1

装飾でハロウィン意識を向上



この企画は、生協学生委員会の学生1名と、生協ショップの職員が中心となって進められました。学生委員会としての企画ではないので、毎週行っている部会以外の時間を活用し、装飾準備を行いました。ハロウィン当日が近づくにつれて、輪飾りやポップが生協ショップ全体に施されていたので、店舗に来た組合員が季節感を感じやすいものになっていました！

POINT.2

企画参加者を巻き込む工夫

当日の企画に向けて、公式LINEを作成しました。企画自体は31日のみでしたが、学内に掲示しているポスターやSNSで投稿している画像にLINEアカウントの二次元コードを載せていました。企画前からLINE追加することができるため、気軽に企画へ参加できるようになっていました。当初は企画参加人数が30人でしたが、最終的にLINEの追加は200人を超え、当日のお菓子交換は110人が参加するなど、たくさんの組合員に参加してもらうことができました！



POINT.3

LINEを活用してより身近に



今回の企画で公式LINEを活用したことにより、LINEを通じてケンちゃんと会話することができるようになっていました。企画前からケンちゃんより店舗の様子や企画に関する情報が流れてきており、企画当日は学内に隠されているケンちゃんを探すために、LINEを通じて組合員からケンちゃんに話しかけることでヒントを得られるようになっていました。運営側と組合員との距離が近い企画づくりをすることができていました！